

# 令和6年度都立中野工科高校・全日制における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」への指導を充実し、文書作成能力を育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は週1回のベーシック国語で漢字小テストを実施する。</li> <li>・2年生、3年生は毎回の授業にて漢字小テストを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字検定を校内で3回実施し、漢字の定着率を評価する。</li> <li>・文章の作成指導をとおして、漢字を活用し豊かな表現力を身に付ける指導を実践する。</li> </ul>
数学	生徒の基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小單元ごとの小テストを実施する。</li> <li>・生徒の興味・関心を引き出し、自ら考え、問題解決に向けた対話的な授業展開を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学検定、SPIなどを活用し、進路実現に向けた数学の力を伸ばす。</li> </ul>
英語	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に2回以上パフォーマンステストを実施する。</li> <li>・オンライン英会話の指導を充実する。</li> <li>・JET・ALTのスピーキング教材の開発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートを活用する。</li> <li>・オンライン英会話の取組を評価するためのルーブリックを活用する。</li> <li>・JETを活用した放課後の英会話レッスンの開発を行う。</li> </ul>
地理歴史	社会的事象に関心を持ち、多面的・多角的に考察できる能力を育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的事象について、それぞれの特徴を理解し、相互の関連を踏まえて考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT端末を活用し、調べ学習を充実させ、その成果を表現させる。</li> </ul>
公民	社会的な見方を通して公民としての資質を育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読む」「書く」「聴く」「話す」という基本動作を徹底し、身に付ける。</li> <li>・特に、「話す」という動作について、自ら表現する場面を多く設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、多面的・多角的な視点で捉え、公民としての社会参画を考察する。</li> </ul>
理科	科学的に探求する学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予測・推測する力を育成する。</li> <li>・探究する力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予測、見通しを立て、実験操作を行い、結果をまとめ、考察する力を育成する。</li> <li>・科学的に探求する学習活動の相互参観(工業化学)を実施する。</li> </ul>
保健体育	豊かなスポーツライフを継続することや健康を保持増進する資質・能力を育成することへの指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種目において個々で取り組む時間を設け、自身の成長を実感させる。</li> <li>・ICT機器を活用したわかりやすい授業を実施し、ライフステージに応じた健康課題について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目選択を実施し、主体的に取り組みながら共に学習する態度を育成する。</li> <li>・自身のライフプランに即した健康課題を考察し、予防的観点から自身の生活習慣を整える取り組みを実践する。</li> </ul>
家庭	「生活の営みに係る見方・考え方」の育む活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の授業において、身近な布製品の製作を行うことで、技術の定着を図る。</li> <li>・家庭基礎の各内容を取り扱った冒頭の授業で、自らの生活を振り返る時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作物を実生活で使用することで、生活に係る見方を養う。</li> <li>・保育園・児童館でのボランティア活動を行う。</li> </ul>
工業	「課題解決」につながる探究的な学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ専門的な知識、技術を活用しながら解決できる課題設定の工夫を取り入れた授業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決において主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> <li>・予想や仮説を立て、その結果をまとめ考察する力を育成する。</li> </ul>